

5 計画の基本方針

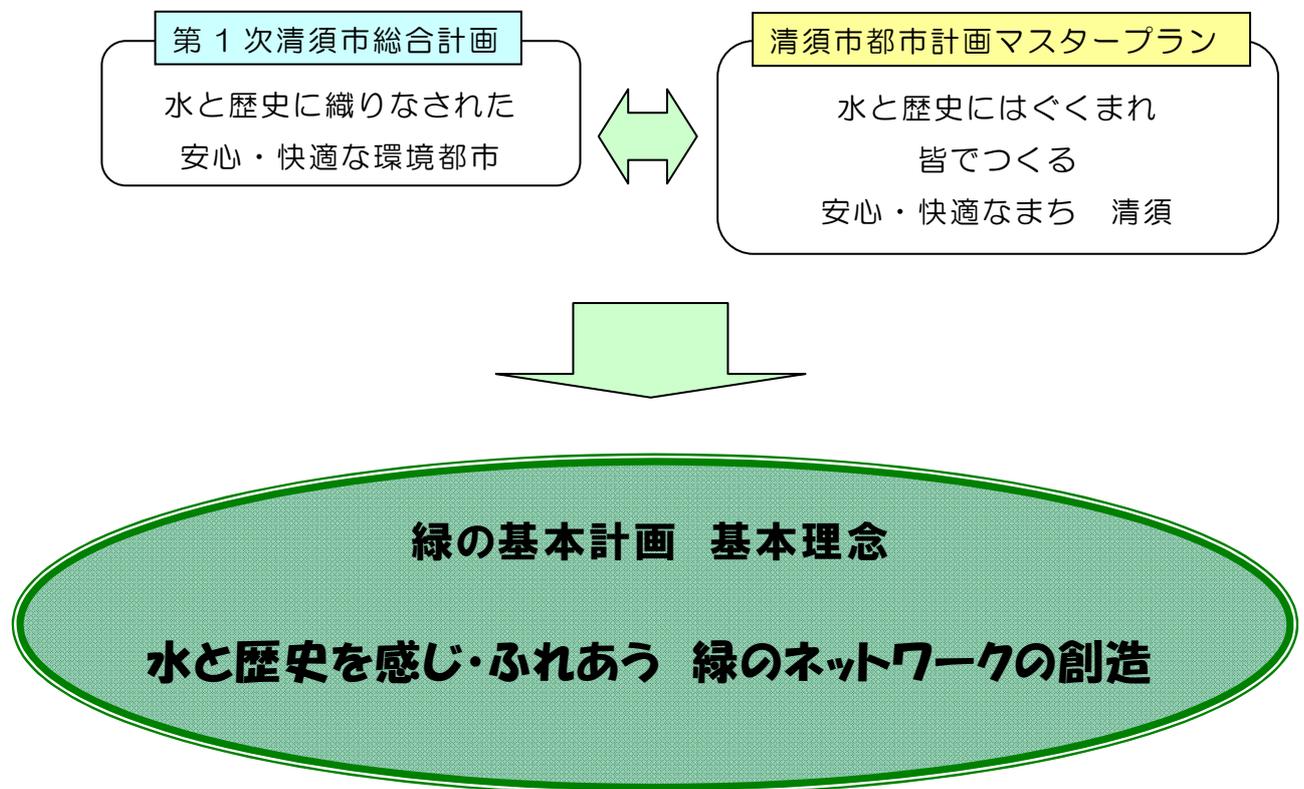
(1) 基本理念

都市の緑は、都市環境の維持・保全、レクリエーション活動や都市防災の拠点、良好な都市景観の形成など、市民生活に深いかわりを持っています。

その効用は様々ですが、多様で豊かな緑やオープンスペースが存在することで自然の生態系が保たれると共に、潤いと個性ある町並み景観を生み出すことができます。また、人々の生活にゆとりをもたらすと共に、活発な余暇活動の場として賑わいを演出する効果も合わせもちます。

「清須市緑の基本計画」は、このように多様な効用を有している現状の「緑」を、市民一人ひとりと行政及び各団体等が共に協力し、将来にわたって望ましい姿で保全・整備していくと共に、市民が生活の豊かさを実感し、清須市を誇りとするような質の高い「緑」を創造し、よりよい緑のまちづくりを目指すものです。

このような考えに基づき、総合計画に掲げられた都市の将来像である「水と歴史に織りなされた 安心・快適な環境都市」、及び都市計画マスタープランにおける基本理念である「水と歴史にはぐくまれ 皆でつくる 安心・快適なまち 清須」の実現を前提として、本計画では、「水と歴史を感じ・ふれあう 緑のネットワークの創造」を基本理念とします。



(2) 緑の基本方針

「水と歴史を感じ・ふれあう 緑のネットワークの創造」という基本理念に基づき、4つの基本方針を設定します。

緑の基本方針

<施策の方針>

時をつなぐ緑を守る

歴史遺産の緑、河川・樹林などの緑、農地の緑を守ります。

- ・ 未来へ継承すべき歴史的景観や緑の自然環境を守ります。
- ・ 庄内川、新川及び五条川などの自然環境を守ります。
- ・ 社寺林や大木、名木などの緑を守ります。
- ・ まちに残る貴重な農地環境を守ります。

活気あふれる緑を創る

ふれあいの緑・集いの緑・憩いの緑を創ります。

- ・ 庄内川、新川及び五条川の水辺空間を活用し、多様な生物が共存できる環境を形成し、自然とふれあえる緑を創ります。
- ・ 地球環境に配慮しながら、身近にある公園・緑地などの公共施設の緑化を充実します。
- ・ 鉄道駅周辺に市民が集い、愛着が持てる緑を充実します。
- ・ 市民農園など、市民が憩い、活用する緑を創ります。

まちをつなぐ緑を創る

風を感じる道・歴史を感じる道・安らぎを感じる道を創ります。

- ・ 庄内川、新川及び五条川にそよぐ風を感じ、癒される道を創ります。
- ・ 清洲城、貝殻山貝塚、美濃街道などの歴史を感じ、ふれあう道を創ります。
- ・ 自然にやさしく、安心・安全を感じる緑のネットワークを創ります。

緑を育てる人を創る

市民・事業者・行政の協働で、緑を育て、人を育てる機運を高めます。

- ・ 市民が緑にふれあい、親しむための環境整備を進めます。
- ・ 緑を守り・育てる人の輪を広げます。
- ・ 市民、事業者、行政の協力のもと、緑の輪をまちに広げます。
- ・ 緑に対する取組みや制度などの情報を広く発信し、共有します。